



w1800 mm × h1700 mm



看板面はイメージです。

新看板のデザインに あなたの意見を

天見地域まちづくり協議会が 市の補助金を獲得

平成27年2月に設立され、力を合せて様々な地域課題の解決に取り組んでいる「天見地域まちづくり協議会」。

当会では、今回、市の市民公益活動支援補助金(地域まちづくり型)に応募し、公開プレゼンテーションを乗り越えて、駅前看板の整備が決定した。

この補助金は、地域の活性化を図るため、小学校区象徴的な景観の形成などのハード整備を市が支援するもので、補助上限が50万円となっている。

現在、天見駅では、南天苑への集客から、多くの外国人が乗降している。また、千早口駅では、30年以上前に市の観光課が整備した観光案内板の文字が薄くなり読めなくなっている。

そこで、天見駅前と千早口駅前に周遊マップ看板を設置し、外国人観光客の利便性を高めると同時に、観光消費や滞在時間の延長を図るものである。

また、観光客向けと同時に、住民向けのチラシ等ラックも設置し、地域内



への情報発信にも活用する予定だ。
すでに、原会長が南海電鉄と交渉し
ており、内諾を得ているとのこと。

住民の力が必要

天見駅と千早口駅では、停車しない
快速急行が増え、いずれ両駅が廃止さ
れるのではないかと危惧する声も多い。
そのため、当会では、一過性の看板
整備ではなく、歴史や自然などの天見
の資源に着目し、地域に自信を持てる
よう住民を元気づけ、愛着づくり、村
の発展につなげていきたいと考えた。
しかも、これ幸いなことに、当会
は、お洒落な自転車マップを発行して
おり、このデータを有効活用できる。
そこで、来年3月の設置に向け、看
板デザイン検討会を立ち上げ、楽しみ
ながらチャレンジできる有志を募る。
若者男女問わず。天見小学校の児童
や先生も大歓迎なので、ぜひ参画を。

看板製作に協力者を求む

記事を書ける人、カメラで撮影でき
る人など。経験不問。応募締切は12月
末まで。詳しくはメールで！

terumici0822@gmail.com ほか。

移住促進先進地へ視察敢行

平成28年9月15日(木)、曇天の下、天見地
域まちづくり協議会の役員らは、積極的に都会
からの移住者を受け入れている奈良県東吉野
村を訪れ、先進的な移住促進の実情、移住者の
暮らしやPR活動などについて話を伺った。

東吉野村は、天見から車で約1時間半。人口
約1600人(天見が約900人なので2倍
弱)、急峻な山間に小さな集落が点在する村。
役場の近くには、移住者を支援するオフィス

キャンプという築70年の民家を改装した施設
があり、フリーのデザイナー坂本大祐氏が運営
し、今、多くのメディアから、若者が集まる地
域活性の新たなモデルとして注目されている。
坂本氏は、堺市から東吉野村に移住した自らの
体験をもとに、村役場とも連携しながら、移
住希望者と地域住民との橋渡しを行っている。

参加した役員からは、まず貸せる空き家の情
報を集める。都会と天見とをコーディネートで
きる人材を確保したい。ウェブでのお洒落な情
報発信が必要。貸農園の充実と推進、来訪者と
友達になればよい。といった意見が出された。
そこで、当会では、移住促進の検討に向けて、
まず先に、賃貸が可能な物件情報を募集する。

物件情報の提供はメールで

terumici0822@gmail.com ほか



健全育成会

東中学校区青少年健全育成会(会長
窪田健一)では、地域一丸となって青
少年の健全育成に取り組むため、三日
市、川上、天見の各小学校及び学校運
営協議会の協力を得て、住民や各種団
体との情報交換や課題共有を図る「タ
ウンミーティング」を開催する。

住民や保護者であれば、誰でも参加
できるので、ぜひとも参加を。

日時 平成29年2月24日(金)
19時00分〜21時00分
場所 天見小学校 体育館
内容 お茶を飲みながら歓談など
申込 前日までに小学校へ問合せを

